

6月10日(火)から

開館時間を延ばし、開館日を増やします

—— 地域の図書館がより便利に、身近に ——

大阪市立図書館では、これまで昼間の利用が困難であったお勤めや学生の方などの利用機会を拡大するため、6月10日(火)から全ての地域図書館の開館時間を平日午前10時から午後7時までに延長するとともに、今までの第2・第4火曜日の定例休館日も開館し、開館日についても大幅に増やします。これによって、地域図書館の利用は次のようになります。なお、中央図書館については変更はありません。



開館時間	火曜日～金曜日	午前10時～午後7時
	土曜日・日曜日・11月3日	午前10時～午後5時
休館日	月曜日、国民の祝日・国民の休日（ただし、11月3日〈文化の日〉は開館） 毎月末日、年末年始、蔵書点検期間	

お話しボランティアグループ「たんぼぼ」

文部科学大臣表彰を受賞

4月23日の「子ども読書の日」にあたって、国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について優れた実践を行っている団体におくられる文部科学大臣表彰をおはなしボランティアグループ「たんぼぼ」が受賞しました。

「たんぼぼ」は高松仁子（たかまつ よしこ）さんを代表とする10名程度のグループで、「ろぼの子文庫」を開設し、阿倍野図書館をはじめ、阿倍野区を中心に活動されています。表彰式は4月23日に、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで行われました。

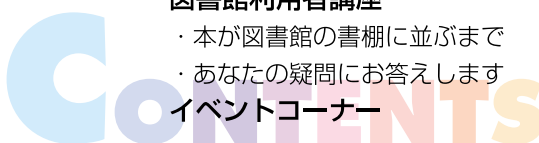


ニュース

・携帯電話による貸出予約好評	2P
・平成15年度図書館事業確定	2P
・小泉 葵さん内閣総理大臣賞受賞	3P
大阪市史編纂所だより	3P

シリーズ図書館めぐり

図書館利用者講座	4P
・本が図書館の書棚に並ぶまで	5P
・あなたの疑問にお答えします	5P
イベントコーナー	6P



— 携帯電話による図書の貸出予約サービス等の開始 — 利用者から好評の声

大阪市は昨年12月から、新たにインターネット対応の携帯電話用のホームページを開設しました。図書館情報についてもインターネット対応のiモード、J-SKY、EZwebの携帯電話のメニューから簡単にアクセスすることができるようになりました。

これによって、図書館のホームページを見ることはもちろん、300万冊を超える図書館の蔵書検索、予約の申し込み、返却期限の延長、ご自分の予約状況や貸出状況の確認などもできるサービスが携帯電話からご利用いただけるようになりました（状況の確認や、予約申し込みのサービスを利用するには、事前に図書館で図書館カード、パスワード、暗号カードの発行を申し込んで下さい）。これは、指定都市では初めてのサービスとなります。

このほか、インターネット対応の携帯電話用のホームページでは、大阪市のイベント情報やお知らせ、観光情報、スポーツ情報、開花情報などがご覧になれます。



大阪市の図書館ホームページ <http://www.oml.city.osaka.jp>

平成15年度図書館事業計画確定

3月市会で平成15年度大阪市予算が成立しました。図書館関係の予算としましては、地域図書館における開館時間の延長等図書館サービスの拡充に係る経費、平成16年度の完成を目指して建設中の新西淀川図書館・新鶴見図書館の建設事業費、平成19年度の完成を目指す新住吉図書館建設調査費、図書館情報システムの開発費用、新修大阪市史「史料編」編纂事業費等となっています。このほか、今年度から乳幼児健診に参加したすべての赤ちゃんと保護者に、絵本を介して親と子が触れ合う時間をもつことを支援する「ブックスタート事業」を健康福祉局と協同で実施します。

大変きびしい財政状況の中ですが、創意工夫を行い有効に予算を活用して、図書館サービスの充実など更に図書館事業を推進に努力してまいります。



小泉 葵さん全国読書感想文コンクール 内閣総理大臣賞受賞



第48回青少年読書感想文全国コンクール（毎日新聞社・全国学校図書館協議会主催）で大阪市立西三国小学校5年生（現6年生）小泉 葵さんの「出会い」が最優秀賞の「内閣総理大臣賞」を受賞しました。当作品は、第48回大阪市青少年読書感想文コンクールに入賞し、全国大会に応募したものです。平成15年2月7日に東京會館で授賞式を終えられた小泉さんに、受賞の感想を書いていただきました。

《この本と出会い、この感想文を書いた事で、たくさんのすばらしい「出会い」を経験する事ができました。と同時に、これからの私の人生の中で、今回の受賞は、私の自信につながっていくと思います。私の受けた感動が多くの方々に共感していただけた事に再び感動しています。今後も、また新たなステキな「出会い」を求めて本を読み続けていきたいと思っています。》

読まれた作品は『よみがえれ白いライオン』（評論社）マイケル・モーパーゴ・作 佐藤見果夢・訳 クリスチャン・バーミンガム・絵

感想文は英訳されて、イギリスに住む作者に届けられました。

第49回大阪市青少年読書感想文コンクールの応募要項が6月中旬に毎日新聞社から発表されますので、皆様方もどしどしご応募してください。



職 場 体 験 学 習 報 告

昨年10月23日～24日の2日間、市立港南中学校2年生6名が職場体験学習に来られました。そのときの学習内容を学校でポスターにして発表され、そのポスターを中央図書館に届けてくれました。



大阪市史編纂所だより



市史編纂所では、平成15年度から「新修大阪市史(史料編)」全22巻の編纂を開始します。市史の編纂は、本来本文編の基礎となる史料編を先に刊行し、その後に史料編に基づいて本文編を刊行するのが通例ですが、「新修大阪市史(本文編)」については、昭和54年に「大阪市制100周年記念事業」の一環として編纂に着手し、平成8年に全10巻を刊行し終えています。

史料編については、当面、毎年1巻ずつ刊行する予定ですが、この史料編が完成しますと完全な「新修大阪市史」ができあがることとなります。今年度は「新修大阪市史」史料編(考古資料編)の刊行を目指します。

ホームページを開設しましたので、一度ご覧になって下さい。

ホームページ <http://www.oml.city.osaka.jp/hensansho/>

お問い合わせ 大阪市史編纂所 ☎06-6539-3333

シリーズ：
図書館めぐり

ようこそ中央図書館へ ②

— 中央図書館は、地方自治体では最大規模の図書館です —



今回は、中央図書館地下1階を紹介します。

地下鉄西長堀駅7号出口から、東側のサンクンガーデンを通して入館すると、そこは地下1階の閲覧室です。このフロアには、文学・レクリエーション・芸術についての図書や雑誌、そしてヤング・AV(音響・映像)・障害者サービスの各コーナーがあります。出入口付近にはレストラン・喫茶もあります。

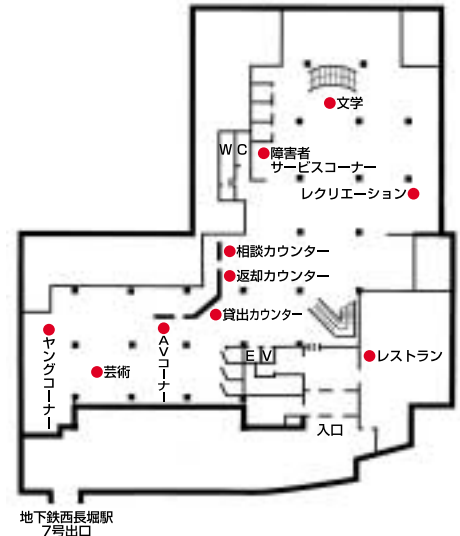
入ってすぐの相談カウンターでは、資料の貸出予約、このフロアの主題に関わる調べものや相談、障害者サービスについての相談などをお受けしていますので、お気軽におたずねください。また、貸出・返却カウンターでは、図書、雑誌、CD、ビデオの貸出返却を行っています。特にこの地下1階は予約のセンターとして予約資料の貸出をしています。

AVコーナーでは、約2万7千点のビデオやCDを所蔵し、貸出しています。また、館内でも鑑賞できるよう各種の視聴ブースを設置し、タッチパネルに触れるだけでだれでも簡単に操作ができます。

障害者サービスコーナーでは、点字資料や録音図書を提供しています。対面朗読室を3室設け、ボランティアの方々の協力を得て朗読サービスを行うほか、音声や点字ディスプレイによって利用者自身が蔵書の検索を行える検索システムも備えています。このほか、資料の郵送貸出などのサービスも行っています。

ヤングコーナーには主にティーンエイジャー向けの図書や雑誌をそろえています。

このフロアが最も利用者の行き来が多くなっていますが、今後とも活気の中にも、落ち着きと気軽に利用できる読書環境の保持に一層努めてまいります。



地下鉄西長堀駅
7号出口



AVコーナー
(試聴台)

障害者サービス
コーナー▼



読書会に 参加してみませんか



住吉図書館 読書会 会報

各地域の図書館を中心に、多くの読書会が活動しています。月に1回程度グループで同じ本を読み、その読後感想を話し合い、時には講師を招いたり、取り上げた作品の舞台となった地域を訪ねたりするなどの活動を行っています。

読書は極めて個人的な活動ですが、体験や感性、価値観の違う人達が一冊の本から感じ取ったことや考えたことを出し合って、お互いに読書の楽しみを深める出会いの場にもなっています。

文学作品がほとんどですが、最近の小説から古典的な作品まで幅広く取り上げているグループ、子どもの本を中心にしているグループなどそれぞれ特色があります。

図書館では、みんなが同時に読めるように、本を集めたり、作品の書評などの関連資料を準備するなどして、活動をバックアップしています。最寄りの地域の図書館でもそんな活動をしているグループがあるかもしれません。興味のある方は最寄りの図書館にお気軽におたずねください。



本が図書館の書棚に並ぶまで

一年間に国内で発売される新刊図書は約7万点！ 政府刊行物や地方出版、自費出版なども含めると毎年膨大な数の出版物が世に送り出されています。図書館では、これらを購入したり寄贈を受けたりして皆様に提供しています。今回は、購入した新刊書が書棚に並ぶまでをご紹介します。

1 選 書

新聞の書評や、広告、出版情報誌などの情報を参考に、また、見本として届く現物を見ながら購入する図書を選びます。地域図書館はスペースも予算も限られているので、蔵書構成や利用動向を考えながら選びます。中央図書館は地域図書館をバックアップするという意味からも、できるだけ全点を購入するようにしています(学習参考書や高度に専門的な学術書などを除く)。基本的な図書や、多くの方のご利用が見込まれる図書は、どの地域図書館でもそろえるように努めています。

2 発 注

購入を決定した図書は、各館でコンピュータに発注入力をした後、中央図書館の担当部署で一括して伝票を打ち出し、書店に発注します。新刊書は発行後、日数が経過するにつれ入手が難しくなるものもあるので、タイミングを外さないように迅速な発注に心掛けています。

3 装備・登録

図書が納品されるとラベルやバーコードを貼ったり、フィルムをかけます。これを「装備」と呼んでいます。また、書名や著者名などの検索用の情報をコンピュータに入力し、大阪市立図書館の図書であることを登録します。これで初めて図書館の蔵書として利用できるようになります。

4 配 架

すでに予約の入っている図書はお待ちの方へ、それ以外の図書は新刊図書コーナーに展示後、背に貼ってあるラベルの記号にしたがって書棚に並べます。このことを「配架」と呼んでいます。図書があるべき書棚に並べられていなければ、探し出すことはできません。利用者のみなさまに快適に図書館を利用していただくために書棚の整頓は、大切な仕事です。

現在、大阪市の図書館には、図書だけで年間21万冊が受入れられています。中央図書館に142万冊、23の地域図書館に158万冊、全館あわせて300万冊を所蔵しています。今後増えつづける新しい図書を素早くお届けできるようにこれからも努力してまいります。



あなたの疑問にお答えします



資料の複写に申込書が必要なのはなぜ？

図書館における複写サービスには、著作権者の権利を保護するため、「著作権法」によりいくつかの条件が課せられています。図書館は、その条件に照らして、申し込まれた複写が、著作権法上許されている範囲内かどうかをチェックすることが必要なため、複写申込書を記入していただいています。

その取り扱いについては、プライバシー保護に十分配慮していますので、法の趣旨をご理解のうえご協力をお願いします。

複写が認められる条件は次のとおりです。

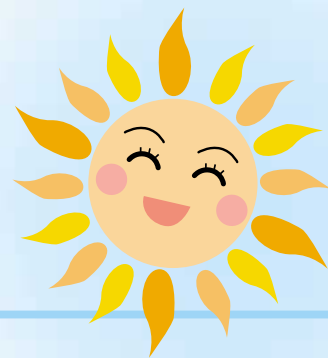
- | | |
|--------------------------|----------------|
| ①複製しようとする施設の蔵書や保管資料であること | ④公表された著作物であること |
| ②利用者の求めに応じて行うこと | ⑤著作物の一部分であること |
| ③利用者の調査研究に供するものであること | ⑥一人につき一部であること |

※ 著作権法第21条(複製権)と、第31条(図書館等における複製)に基づきます。





イベントコーナー



■上期の主な予定 [平成15年4月～15年11月]

図書館での今年度上期の主な開催予定のイベント等は次のとおりです。
日程など詳細は、大阪市広報、インターネットの図書館ホームページ、ポスター、パンフレットなどでお知らせします。

・中央図書館

4月26日	子ども読書の日記念事業(実施済み)
5月8日～7月中旬	幼児期図書ボランティア講座(10回開催)
5月26日～6月8日	蔵書点検により休館
7月5・12・19・26日	連続講座「ミナミ-賑わいのまち-」
9月	連続講座「メディアリテラシー」(2～3回開催) 高齢者図書ボランティア講座(3～5回開催)
10月25日～11月16日	第6回図書館フェスティバル

・地域図書館

4月26日	子ども読書の日記念事業 (全館で実施済み)
6月10日から	全地域図書館で開館時間等の延長実施

市内23館の地域図書館でも、毎月さまざまなイベントを開催しています。
※詳しくは、各館の図書館報やお知らせをご覧ください。

■お知らせコーナー

◆蔵書点検のための休館 (中央図書館)

中央図書館では、年に1回、所蔵図書を点検するため、5月26日(月)から6月8日(日)までの間、休館させていただきます。期間中、ご不便をおかけしますがよろしくご協力お願いします。市内23の地域図書館は平常どおり開館していますのでご利用下さい。

◆「こどものほんだな 2003」配布中

大阪市立図書館が「子ども読書の日」記念事業の一環として、昨年刊行された図書の中から子どもに勧めたい図書を「こどものほんだな 2003」として冊子にまとめました。ご希望の方は、大阪市の各図書館のカウンターにお尋ねください。

